



It is the intention of the members of the Board of Directors that the information being here and there is to be used for the benefit of the stockholders and other interested parties for the same time being.

株式会社クリーク・アンド・リバー社

人の能力は、  
無限の可能性を秘めています。  
私たちはその能力を  
最大限に引き出し、人と社会の  
幸せのために貢献します。

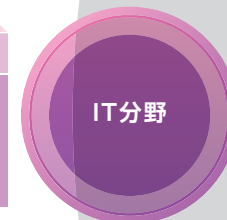
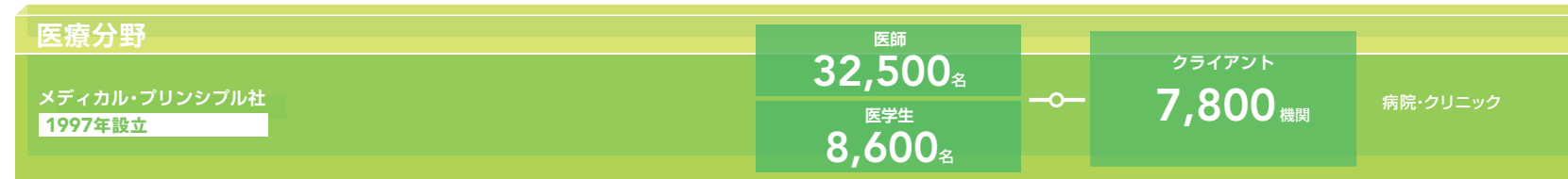
クリーク・アンド・リバー社は、「クリエイターの生涯価値の向上」と「クライアントの価値創造への貢献」の実現を目指し、1990年、クリエイター・エージェンシー事業をスタートさせました。以来、プロフェッショナルのための真のエージェンシー・グループを目指し、医療、IT、法曹、会計の各分野へと事業領域を拡げると共に、各分野において、プロフェッショナル・ネットワークを着実に拡大させています。

C & Rグループは、皆さまのご支援のもと、2010年3月に創業20周年を迎えることができました。

今後も「世界で活躍できる」「機械では決して代わることのできない」「知的財産が蓄積される」プロフェッショナルの方々をサポートし続け、グループとしての成長を目指してまいります。

## Group Agency Model

1990 1997 2000 2007 2009 2010 Future



## New Agency

### 新プロフェッショナル分野

C&Rグループは社会を支え、価値を創造する「プロフェッショナル・エージェンシー・グループ」として新たなプロフェッショナル分野へと事業領域を拡げてまいります。



# To Our Shareholders

株主の皆さまへ



**当社は、2010年3月をもちまして  
創業20周年を迎えました。**

**株主の皆さまの  
日頃のご支援に対し、  
厚く御礼申し上げます。**

代表取締役社長 井川 幸広

## 第20期の取り組みと業績について

当社は、「クリエイターの生涯価値の向上」と「クライアントの価値創造への貢献」を2大ミッションとし、1990年3月にクリエイター・エージェンシー事業をスタートさせました。その後、医師、ITエンジニア、弁護士、会計士とネットワークするプロフェッショナルの領域を拡げ、グループとして成長を続けてまいりました。第20期については、景気悪化に伴う求人広告関連のアウトソーシング受託が急激に減少したこと等により、残念ながら前年対比減収減益の結果となりましたが、新たな成長に向け、着実に種を蒔くことができました。株主の皆さまには、多大なるご心配をおかけすることとなりましたことを、深くお詫び申し上げます。

## 創業20周年を迎えて

この20年を振り返ると、C & Rグループは事業領域拡

大の歴史でした。映像分野におけるエージェンシー事業からスタートし、インターネットが飛躍的に浸透していった時代のニーズに合わせ、Web・モバイル分野へとその領域を拡げ、現在では全てのクリエイティブ領域をカバーするに至っています。同時に、我々のビジネスモデルが成立し得るのはクリエイターだけではなく、多くの「プロフェッショナル」に対して必要とされるものと確信し、他の専門分野へ事業領域を拡大してまいりました。第20期には、新たに会計分野のエージェンシー事業へ進出し、更に医療分野では、既存の医師に加え、看護師のエージェンシー事業をスタートしました。グループの成長と共に、我々のミッションは「プロフェッショナルの生涯価値の向上」と「クライアントの価値創造への貢献」へと変化しましたが、基本的な理念は全て共通しており不変です。

また、「プロフェッショナルの生涯価値の向上」を実現

するために、我々のサービスも進化を続けてまいりました。クリエイティブ分野においては、人材サービス中心から、制作等の請負へ、そして今では企画提案により、クライアントのニーズそのものを生み出し、クライアントの価値創造へダイレクトに貢献していくことも可能となってまいりました。第20期は、急速に拡大するECマーケットに対する取り組みを強化するため、専門組織を組成し、中国市場に進出を目指す日本企業向けに新たなサービスを開始しました。企業の営業戦略そのものに関わる、より高次元な企画提案を行ない、クリエイティブの力で企業の現場から経営までトータルにサポートすることを目指します。

更に、これまでの韓国に加え、2010年3月には中国上海に現地法人を設立し、日本だけでなくアジアをターゲットに見据えた展開を加速しています。

「職種」「サービス」「エリア」全ての面で領域を拡大していくことで、C & Rグループは成長を続けてきたと言っても過言ではありません。

第20期以前にも、前年対比減収減益となったことが一度ありました。ITバブル崩壊による影響が大きかったその時も、先の成長を見据え、事業領域を拡げていくことで、翌期以降着実に成長を続けていくことができました。第21期も、第20期に蒔いた種が芽を出し、しっかりとした枝葉となって成果に結びつくものと確信しています。

## プロフェッショナル・エージェンシー事業の成長に向け、一層の事業拡大を図ってまいります

— 昨年の一歩一歩の成長に端を発した世界的な金

融不況により、企業間の競争は激化し、社会・経済は大きな転換期を迎えています。このような状況において、世の中が求めているのは、より高度かつ専門的な課題を解決する力です。まさに、「プロフェッショナル」が求められている今、C & Rグループが果たすべき役割や存在意義を改めて見つめ直し、社会に貢献すべく、大きく前進したいと考えています。

グループ各社において、課題・施策は異なるものの、「プロフェッショナルの生涯価値の向上」と「クライアントの価値創造への貢献」というミッションは共通しています。C & Rグループはこのミッションのもと、既存のエージェンシー事業の強化と共に、更に新たなプロフェッショナルを対象としたエージェンシー事業への進出を図ることで、これからもグループとして成長を続けてまいり所存です。今後とも変わらぬご支援のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

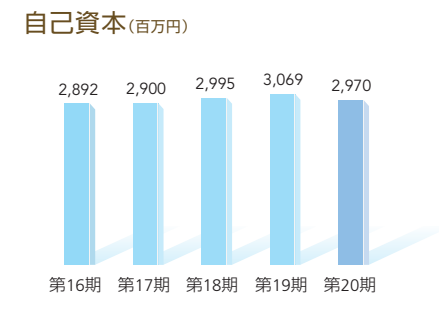
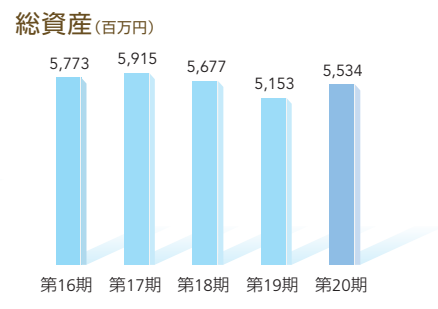
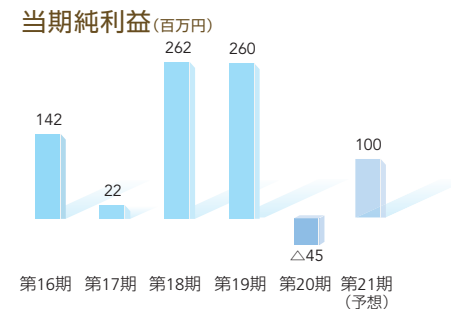
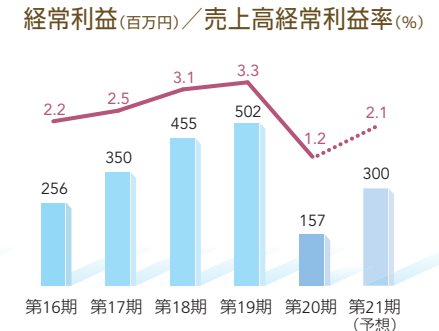
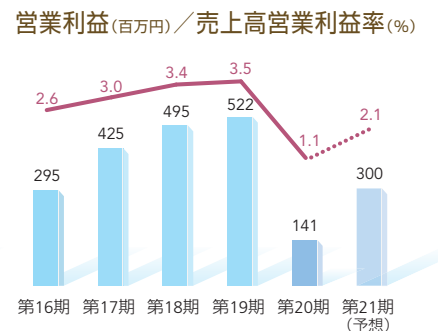
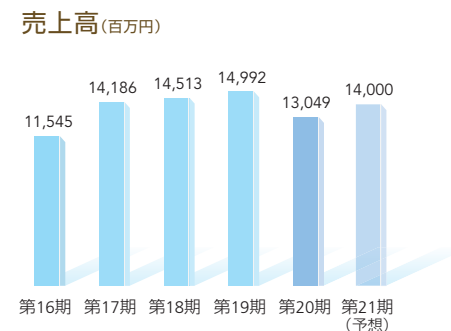


# Consolidated Financial Highlights

## 財務ハイライト

第20期の経済環境は、世界的金融危機の影響により景気低迷が続き、先行き不透明な状況が続きました。国内のクリエイティブ分野において、景気悪化に伴う求人広告関連のアウトソーシング受託が急激に減少したこと、また、ライツ関連事業の一環である、映画・ドラマ等のDVDの収益性を厳格に査定し、今後の収益への影響を払拭すべく、特別損失にて処理を実施したこと等により、当社グループの当連結会計年度の業績は、売上高13,049百万円、営業利益141百万円、経常利益157百万円、当期純損失45百万円となりました。

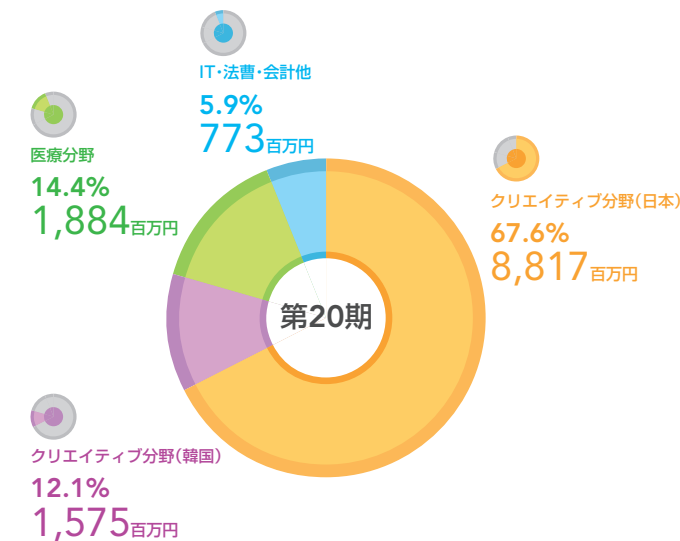
第21期は、中核事業であるエージェンシー事業の持続的成長を目指し、事業基盤を更に強化し、従来に増してプロフェッショナル及びクライアント双方とのコミュニケーションを深め、的確な企画提案と新たなソリューションの提供により、各分野毎のエージェンシー事業をより一層強化してまいります。これらにより、連結業績は、売上高14,000百万円、営業利益300百万円、経常利益300百万円、当期純利益100百万円を見込んでいます。



# Our Group Company

## 分野別概況

### 分野別売上高と構成比



### クリエイティブ分野(日本)の概況

- クリーク・アンド・リバー社

国内のクリエイティブ分野では、エンタテインメント関連や一般事業法人を対象としたコンテンツプロデュース関連は比較的堅調に推移しましたが、景気悪化に伴う求人広告関連のアウトソーシング受託が急激に減少したこと等により、業績に多大な影響を及ぼしました。一方、EC市場が飛躍的に拡大していることを踏まえ、専門部署を組成し、中国市場に進出を目指す日本企業向けに新たなサービスを開始する等、サービス領域の拡充に取り組んでいます。

### クリエイティブ分野(韓国)の概況

- CREEK & RIVER KOREA

韓国国内の約70のチャンネルへ約900名のスタッフ派遣を通じたTV局との取引に加え、WebやCG分野等、より多様なニーズへの対応を強化しています。更に、61名のトップクリエイターの専属マネジメントを行ない、作品の映像・書籍化、プロデュース企画等を通じて、ライツ・マネジメントにも積極的に取り組んでいます。

### 医療分野の概況

- メディカル・プリンシプル社

全国的かつ慢性的な医師不足・偏在の状況が続く医療業界においては、医師へのニーズは引き続き高水準で推移しています。大学医局・医師・医療機関を繋ぐ的確なサービスに対する認知度向上に伴い、2009年12月末日現在、登録医師数が約32,500名、登録医療機関は約7,800となり、成約件数も順調に伸長しています。また、2009年12月には、看護師向けのエージェンシー事業を開始し、サービスの多様化と事業基盤の拡大を図っています。

### IT・法曹・会計他の概況

- リーディング・エッジ社
- C&Rリーガル・エージェンシー社
- ジャスネットコミュニケーションズ

IT分野では、市場のニーズが高いEC関連のシステム構築に注力し、同分野を推進している当社とのシナジー向上を目指しています。法曹分野では、弁護士の登録者数が約1,800名となる等、法曹・法律事務所・企業法務部とのネットワーク拡大が着実に進展しています。第20期より新たに加わった会計分野では、昨年来の世界的金融危機に伴い、人材ニーズは減少傾向にありましたが、公認会計士・税理士等の有資格者に対するニーズは比較的堅調に推移しています。法曹分野・会計分野共に、プロフェッショナルや事務所・企業とのネットワーク拡大を進め、収益力向上に努めてまいります。

Topics 1

中国現地法人を設立  
クリエイティブ分野

中国の2009年の実質GDP成長率は8.7%と高い水準が続いており、13億人を超える人口を背景とした同国経済の潜在力を見据え、中国に進出している日本企業は約5,000社に上っています。また、経済成長に伴い、日本のコンテンツに対するニーズが今後一層高まっていくことが予想されることを踏まえ、2010年3月に中国上海に創河(上海)商務情報諮詢有限公司を設立いたしました。同社では、中国現地クリエイターによるネットワークを構築し、中国に進出、もしくは進出を目指す日本企業に対してクリエイティブ面でサポートを行なうと同時に、書籍や雑誌のライセンス仲介等を中心としたライツ関連サービスを、積極的に推進してまいります。



Topics 2

看護師事業を開始  
医療分野

1997年にスタートしたドクター・エージェンシー事業に加え、2009年12月より看護師のエージェンシー事業「Nurse Partners(ナースパートナーズ)」を開始しました。「Nurse Partners」では、看護師のためのWebサイトの運営と、キャリア志向の高いナースを対象とした情報誌「PHILIA(フィリア)」の発行により、エージェントサービス、Web、情報誌の3本柱で看護師のキャリアサポートを行なっています。「医師不足」「看護師不足」等医療機関が抱える課題に対して、創業来培ってきた実績とノウハウを最大限に活かし、更に付加価値の高い社会貢献を目指してまいります。



Webサイト  
「Nurse Partners」



キャリア・ナース応援マガジン  
「PHILIA」

日興IR主催「2009年度全上場企業ホームページ実度ランキング調査」にて、当社のコーポレートサイトが、総合ランキングにて「優良サイト」、新興市場ランキングにて「優秀サイト」に選定されました。

<http://www.nikkoir.co.jp/>



ハイ・サービス  
日本300選

サービス産業生産性協議会主催、イノベーションや生産性向上に役立つ先進的な取り組みを行なっている企業・団体を表彰・公表する「ハイ・サービス日本300選」の企業に選出されました。

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期 2010.2.28現在	前期 2009.2.28現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	4,065	3,988
固定資産	1,469	1,164
有形固定資産	166	227
無形固定資産	635	373
投資その他の資産	667	563
資産合計	5,534	5,153
<b>負債の部</b>		
流動負債	1,887	1,472
固定負債	365	336
負債合計	2,253	1,809
<b>純資産の部</b>		
株主資本	3,024	3,113
資本金	1,035	1,035
資本剰余金	1,874	1,874
利益剰余金	361	449
自己株式	△246	△246
評価・換算差額等	△53	△43
新株予約権	10	8
少数株主持分	300	266
純資産合計	3,281	3,344
負債純資産合計	5,534	5,153

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期 2009.3.1~2010.2.28	前期 2008.3.1~2009.2.28
売上高	13,049	14,992
売上原価	8,909	10,676
売上総利益	4,140	4,316
販売費及び一般管理費	3,998	3,793
営業利益	141	522
営業外収益	23	21
営業外費用	8	41
経常利益	157	502
特別利益	26	9
特別損失	92	40
匿名組合損益分配前税金等調整前当期純利益	91	471
匿名組合損益分配額	△6	△11
税金等調整前当期純利益	98	483
法人税、住民税及び事業税	160	201
法人税等調整額	△45	21
少数株主利益又は少数株主損失(△)	28	△1
当期純利益	△45	260

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期 2009.3.1~2010.2.28	前期 2008.3.1~2009.2.28
営業活動によるキャッシュ・フロー	474	889
投資活動によるキャッシュ・フロー	△640	△173
財務活動によるキャッシュ・フロー	299	△579
現金及び現金同等物に係る換算差額	11	△45
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	144	90
現金及び現金同等物の期首残高	1,966	1,876
現金及び現金同等物の期末残高	2,111	1,966

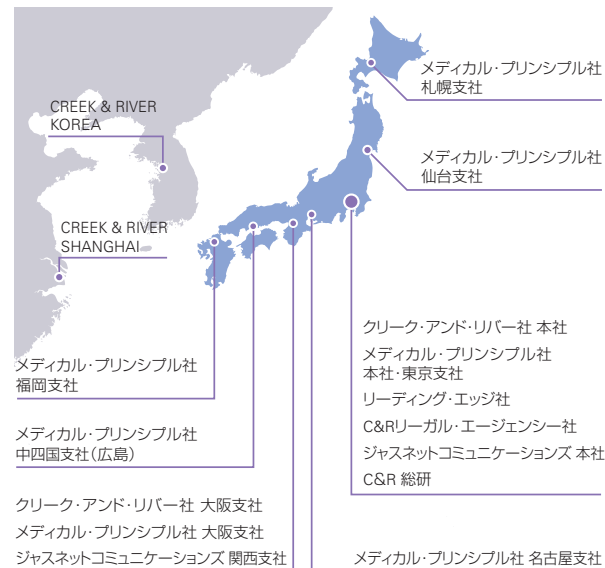
## 会社概要

社名	株式会社クリーク・アンド・リバー社 (CREEK & RIVER Co., Ltd.)
本社	〒102-0083 東京都千代田区麹町二丁目10番9号 C&Rグループビル TEL.03-4550-0011 FAX.03-4550-0010
大阪支社	〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場三丁目5番8号 日本生命心斎橋ビル8F TEL.06-7711-1011 FAX.06-7711-1021
URL	<a href="http://www.cri.co.jp/">http://www.cri.co.jp/</a>
設立	1990年3月20日
資本金	10億3,559万円
代表者	井川幸広
取引銀行	(株)みずほ銀行／青山法人部 (株)三菱東京UFJ銀行／麹町支社 (株)りそな銀行／新都心営業部 中央三井信託銀行(株)／新橋支店 (株)三井住友銀行／赤坂支店
顧問	法律顧問：安部総合法律事務所 さくら共同法律事務所 監査法人：太陽ASG有限責任監査法人 会計顧問：加藤公認会計士事務所

## 役員

代表取締役社長	井川 幸広
取締役会長	中村 明
取締役副社長	福田 浩幸
取締役	中村 洋之
取締役	田中 最代治
取締役	澤田 秀雄
常勤監査役	塩谷 仁
監査役	小笠原 正教
監査役	斑目 力曠
監査役	安部 陽一郎

## C&Rグループ



## 株式の状況

発行可能株式総数	447,200株
発行済株式の総数	226,090株
株主数	3,891名

## 上場金融商品取引所

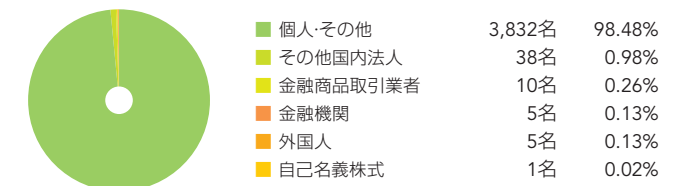
大阪証券取引所(ヘラクレス) 証券コード 4763

## 大株主(10名)

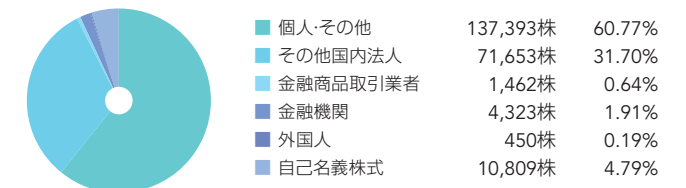
	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社シー・アンド・アール	66,280	30.79
井川 幸広	46,530	21.61
福田 浩幸	7,540	3.50
澤田 秀雄	3,650	1.69
星川 輝	2,957	1.37
依田 巽	2,890	1.34
鈴木 慶子	2,739	1.27
添田 和宏	2,220	1.03
クリーク・アンド・リバー社従業員持株会	1,877	0.87
有限会社エムビーエス	1,700	0.79

(注) 1.上記の他、自己株式が10,809株あります。  
2.持株比率は自己株式(10,809株)を控除して計算しております。

## 所有者別状況



## 所有株式数別状況



## ホームページのご案内

最新IR情報をWebで閲覧いただけます

「コーポレートサイト」  
<http://www.cri.co.jp/>

Click!



## IRニュース配信にご登録ください

C&R社のIR関連の最新情報をメールでお届けするサービスです。プレスリリースやインフォメーション、サイト更新情報等をご案内いたします。コーポレートサイトより、ぜひご登録ください。

## 株主メモ

**事業年度** 3月1日～翌年2月末日まで  
**定時株主総会** 5月下旬  
**基準日** 定時株主総会・期末配当 2月末日  
**公告方法** 電子公告の方法により行ないます。  
公告掲載URL (<http://www.cri.co.jp/>)  
ただし、事故その他のやむを得ない事由により  
電子公告をすることができないときは、日本  
経済新聞に掲載します。

**株主名簿管理人** 東京都港区芝三丁目33番1号  
中央三井信託銀行株式会社

**郵便物送付先** 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
中央三井信託銀行株式会社  
証券代行部

**(電話照会先)** ☎0120-78-2031(フリーダイヤル)

取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全  
国各支店ならびに日本証券代行株式会社の  
本店及び全国各支店で行なっております。

**上場金融商品取引所** 大阪証券取引所(ヘラクレス)

**証券コード** 4763

### 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別  
口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

### 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

### 「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に  
基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料とし  
てご使用いただくことができます。  
なお、配当金領収書にて配当金をお受取りの株主様につきましても、本年より配  
当支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。  
\*確定申告をなされる株主様は、大切に保管してください。

## 株主の皆さまの声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにて  
ご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、  
アンケートを実施いたします。  
お手数ではございますが、右記の方法にて  
アンケートへのご協力をお願いいたします。

- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間  
(7月31日まで)です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を  
進呈させていただきます



<http://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード 4763

いいかぶ

検索

Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、  
いいかぶと4文字入れて検索してください。



空メールにより [kabu@wjm.jp](mailto:kabu@wjm.jp)へ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)  
URL自動返信 アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からも QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、  
アクセスできます 右のQRコードからもアクセスできます。



\*本アンケートは、株式会社エーツメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)  
\*ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL:03-5777-3900(平日10:00～17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com



株式会社クリーク・アンド・リバー社